時事新報廣告料改正

時事新報は紙面を改良し面目を一新して以来益々の歓大に増加したれば廣告の効能も亦前日の比に非ずして十二月一日より左表の如く廣告料を改正し同日以後御申込の廣告は此改正表に依て其料金を可申受候此段廣告致候也

時事新報廣告料（前金）

五號活字廿四字詰	一回以下	三回以上
一行一付	貳拾錢	拾九錢

社說

宮内大臣の進退

宮内大臣事件なるものは局外者より見れば殆んど兒戯の如しと雖も大不敬なりと立騒ぐは本氣の沙汰とも思はれず又其大不敬の聲に驚て俄に新聞雜誌を處分したるが如きも狼狽と云ふの外なし都て一笑に附し去て然る可きが如くなれども兒戯往々にして宮外の影響を生ずるまとあり前日我輩の敢て一言したる所以にして此に尚ほ聊か記したきは宮内大臣進退の事なり或者は云く宮内大臣が斯くまでに非難されたる以上は宜しく辭職す可しと又或者は云く新聞雜誌の記す所偶令ひ無根の風説に過ぎずとするも斯くの如き風説を引起したるは畏敬すべき大臣が薄徳の致す所なれば辭職せざる可らずと一聽尤もなるが如くなれども此説も亦是れ一聽に値するを免かれず其次第は彼の雜誌の文章を見るに其文章に非ずして或人の口より出たるものなりとも無根の風説なりとも何人の目にも明にして要するに唯僅僅たる少年書生の放言に過ぎず斯る放言漫語を以て人を非難せんとならば當に宮内大臣のみならず天下何人を相手にしても非難す可らざる者なし我輩は固より宮内大臣を以て無瑕の君子なりと保證するに非ず其行に於て多少職す可きものもある可しと雖も左ればとて僅に一小雜誌に取扱ひもなき非師の文字を弄べたるが故に之が爲めに其職を辭す可しと云ふが如きは大臣の進退を以て小僧の進退よりも輕しとするものにして所謂の暴言を其に受けて喜怒するに足らず假りに今日にも惡戯書生ありて某大臣を見難せしめんと欲し有るみと無きみと取交ぜて一篇の攻擊文を草し發行停止も餘止も恐れざる田舎の小雜誌に掲載すれば其大臣は書生の往文通りに直ちに辭表を呈するか天下の者誰か大臣は書生の玩弄物にして其進退は漫語放言の命ずる所に在りと謂ふ可し左れば今回宮内大臣に別に辭職す可き理由ありとするも是れは別問題として昨今流行の惡戯書生に対して其進退を我輩の所論として取らざる所なれども攻擊の文章を公にしたる者は恰も自家の面目を以て其辭職を強ひみるならん言論自由の大義に違背すと宜言と称らしたるが爲め職責を失ふ事なしとせず理由として政府に味方したる新聞雜誌等の攻擊に対して自己の面目